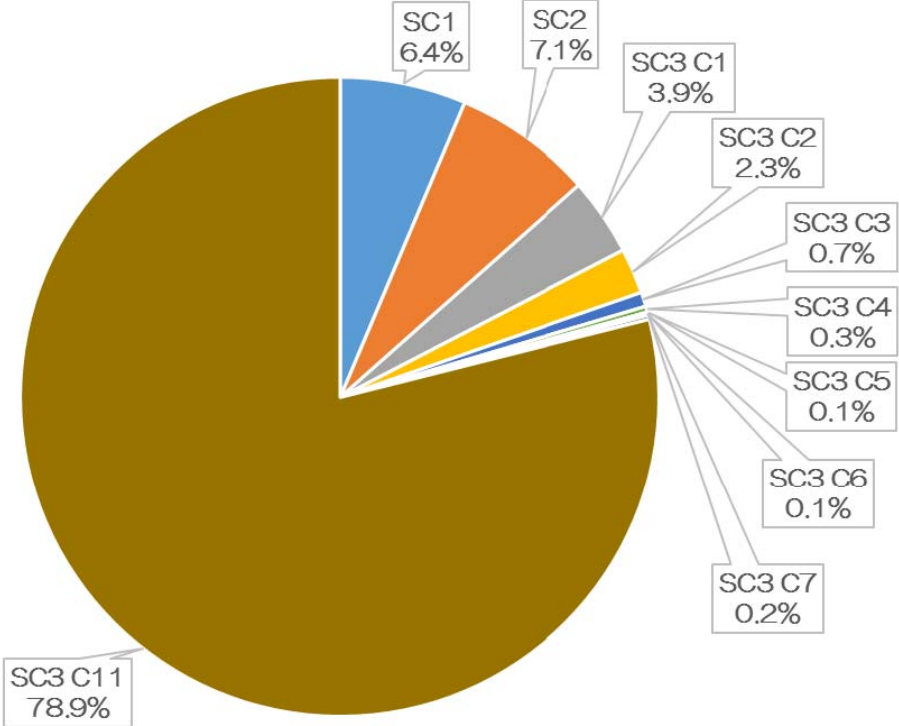


富士電機株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：電気機器● 事業概要：パワエレ、電子デバイス、食品流通、発電プラント関連製品の、開発、生産、販売、サービス● 事業規模（2020年3月31日現在） 売上高（連結） 9,006億円（2019年度） 従業員数（連結） 27,960人
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み> 削減目標：検討中 （現目標：2030年度に2013年度比で31%削減）</p> <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み> 削減目標：検討中 （現目標：2050年サプライチェーンでの排出量を80%削減）</p>

富士電機株式会社

項目	内容																							
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 (2013年実績) 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : [tCO₂] 25.3万トン (6.4%) 																						
	 <table border="1"> <caption>GHG Emissions Breakdown (2013)</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SC3 C11</td> <td>78.9%</td> </tr> <tr> <td>SC1</td> <td>6.4%</td> </tr> <tr> <td>SC2</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>SC3 C1</td> <td>3.9%</td> </tr> <tr> <td>SC3 C2</td> <td>2.3%</td> </tr> <tr> <td>SC3 C3</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>SC3 C4</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>SC3 C5</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>SC3 C6</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>SC3 C7</td> <td>0.2%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	SC3 C11	78.9%	SC1	6.4%	SC2	7.1%	SC3 C1	3.9%	SC3 C2	2.3%	SC3 C3	0.7%	SC3 C4	0.3%	SC3 C5	0.1%	SC3 C6	0.1%	SC3 C7	0.2%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : [tCO₂] 28.2万トン (7.1%)
	Category	Percentage																						
SC3 C11	78.9%																							
SC1	6.4%																							
SC2	7.1%																							
SC3 C1	3.9%																							
SC3 C2	2.3%																							
SC3 C3	0.7%																							
SC3 C4	0.3%																							
SC3 C5	0.1%																							
SC3 C6	0.1%																							
SC3 C7	0.2%																							
<p>【現状のSC3算定範囲】</p> <p>C1：国内工場が調達した原料の生産分のみ C2/3/4/5/6/7：国内分のみ C8：リース資産の使用分はSC1/2に含む C11：民生分野向け出荷製品分 C9/10/12/13/14/15：非該当もしくは僅少</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : [tCO₂] 344.3万トン (86.5%) 																							

富士電機株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none">● 2020年6月18日にTCFDへの賛同表明を実施 「環境ビジョン2050」の推進を通じて、気候変動が当社の事業ならびにバリューチェーンにもたらすリスクと機会、それに伴う財務影響などを分析し、経営戦略への組み込みと積極的な情報開示を行っていく。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none">● 当社の環境への取り組みの水準が国際的基準で認定されることによる客観性の獲得にて、ステークホルダー及び評価機関の評価の向上が期待されること、加えて、社内での環境活動に関するモチベーションが向上する事を期待

富士電機株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"> ● 社長の下に組織された執行役員により構成される「SDG's 推進委員会」が、「経営会議」「取締役会」への目標設定の上申を行う。 ● 目標の設定および算定は「SDG's 推進委員会」傘下の「環境ビジョン推進部会」が特別プロジェクトとして有識者を集めて設置した「SBT認定PJ」を活用して実施中である
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 最新のSBT認定基準に合わせた目標設定 <ol style="list-style-type: none"> ①基準年、直近年、目標年の設定 ②削減目標の見直しと削減シナリオの検討 ③SC3における算定範囲の確定と算定方法の妥当性検証